

TAKE
FREE

2022年 新春号

vol. 72

向陽台病院の健康情報誌「こもれび」

KOMOREBI

Contents

年頭所感

[部署紹介]

ソーシャルワーカーのNewアイテム
「オンライン面談」をはじめて

[プログラム紹介]

南3病棟 読み聞かせ

[リレーエッセイ]

診療部 教育研修担当部長 医師
山脇 かおり

[向陽台 PICK UP]

売店にインタビュー

[連携機関]

社会福祉法人キリスト教児童福祉会
児童心理治療施設
こどもL.E.C.センター
松本祐一郎 施設長

[院内学級ひかり]

いじわる虫の生態



2022年

年頭所感

院長
比江島 誠人

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナと闘い続けた一年でした。

ワクチン接種が進み、感染に注意し皆の努力が実り収束に向かっていっているように見えます。熊本県内では感染者0の日も出てきました。新型コロナでは大変な思いもしました。昨年1月に院内で新型コロナが発生、私は数名のスタッフとともに濃厚接触者として2週間の自宅待機を余儀なくされました。待機中毎日オンラインで対策会議を行い、出勤できない私の代わりに田仲診療部長(当時)が陣頭指揮をとって感染対策を進めてくれました。対策会議のために院内LANを拡充し、ノートパソコンを導入しました。このLANとノートパソコンを活用することで、入院患者さんの退

法人本部常務理事
松山 陽子

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの第5波が猛威を振るい、幅広い年齢層の多くの感染者が報道されるたび不安と恐怖を感じた日々でした。

法人内においても、感染者が発生しましたが、各事業長はじめ感染対策委員会が中心になり、最小限の感染で収められました。その後の感染防止にも力を尽くして再発防止に繋がっていることは、関わってくれたすべての方に感謝しかありません。

ご存じのとおり、昨年11月頃より原因は明らかになっていませんが、新規の感染者減少という状況にし安堵するとともに、これは収束ではないと戒めています。

業務の中でも、日常生活の中でも、当たり前だったさまざまな既成概念は、制限された窮屈な生活の中で、必要なものとそうでないものが改めて見直され、「新しい生活様式」として可能性を生み出すきっかけにもなっています。また、地震や水害など、毎年のように各地でお

Topics & Data

1 「多目的棟 新外来」がスタート!

多目的棟の2階に、外来診察室が3部屋増えました。建物は少々古いですが、明るい雰囲気になるように工夫しました。たくさんの魚たちが2階外来をご案内します。

廊下



待合室



院に向けた面談やゲーム・ネット依存家族教室をオンラインでできるようになりました。今後も油断せず感染防御をしつつ新しい生活スタイルを受け入れて工夫していきたいと思います。

向陽台病院の1年を振り返りますと、一昨年導入し治療抵抗性統合失調症治療として定着してきたクロザピンに続き、昨年は治療抵抗性うつ病の治療に取り組みました。4月にはリワーク(うつ病の患者さんを対象にした復職支援)を開始、r-TMS(反復経頭蓋磁気刺激法)を開始すべく準備中です。多職種でチームをつくり新しいことに取り組むのは横田会の伝統です。

信頼される精神科医療を提供できるよう今年も力を合わせていきたいと思います。

こる容赦ない天災は不安の一因になっています。

真鍋淑郎氏の「ノーベル賞物理学賞2021」受賞は、長年の地球温暖化への危機感をさらに意識させられることになりました。

また、昨年11月の新聞にはこんな記事が書いてありました。熊本市においての環境問題は、まだまだこれからという時代に行政内の温暖化防止計画を策定し、エコオフィス化にいち早く取り組み、その活動が知られていなかったのも、市民団体が市民意識を高める目的で「環境首都」認定書を送り、普及の一役を担っておられたこと。地道に自治体と市民とともに長年の諦めない努力が成果につながる。自分たちの身の回りで何が起きているのか何ができるのか、真摯に向き合うことの大切さを学びました。

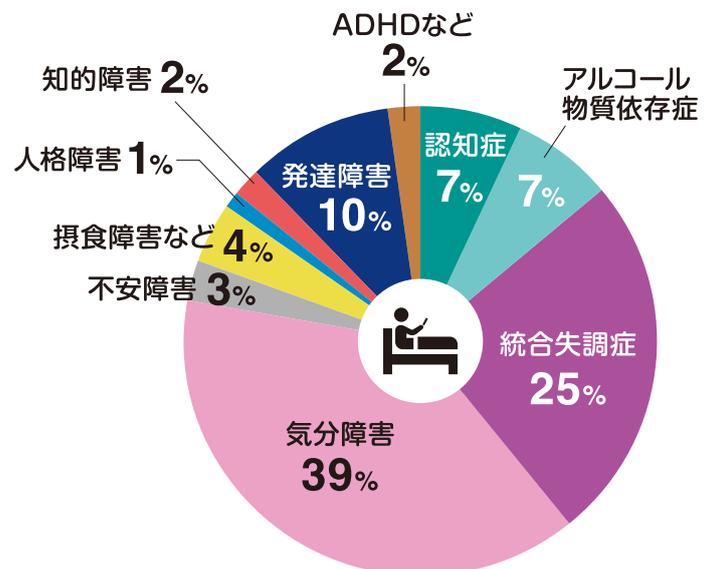
これからも次世代への責任を果たすために医療、福祉に携わっている立場からも職員と協力して一層取り組みたいと思います。

最後になりましたが、本年も皆様におかれましては幸せに満ちた良い年でありますようお願い申し上げます。

2 精神科救急病棟入院の疾患別割合

(2021年9月～11月)

統合失調症の方の割合が減り、認知症、アルコール・物質依存症の方の割合が増えています



ソーシャルワーカーのNewアイテム 「オンライン面談」をはじめて

●地域連携部 精神保健福祉士 部長 山川あゆ美

地域連携部は、病棟業務を行う地域移行支援科と、外来業務を行う地域連携科の2つの科に分かれています。今回は「地域移行支援科=病棟・精神科ソーシャルワーカー（PSW）」のことをお話ししたいと思います。

病棟PSWは日中のほとんどを担当する病棟で過ごしますが、1日に何度かPSW室にやってきます。部屋に入ってきた時の様子でどんな気分なのかだいたい分かります。入って来るなり「聞いてくださーい」としゃべり出す人、「相談があるんですけど」と慌ててくる人、神妙な表情だったり、嬉しそうだったり、色々です。何人か集まると、そこからミニカンファが始まります。それぞれに意見を言い合い、良い話には「うまく連携がとれて良かったね！」など褒め言葉を、相談事などには「もう一度病棟カンファで話し合ったらどうですか？」など励まし合って、また病棟に戻って行きます。

PSW室は同じ職種だからこそ気軽に話し合える基地みたいな場所なのかなあと、そんな光景を眺めながら思います。

さて、そんなおしゃべり好きのPSWがコロナ蔓延のせいで、力の見せ所である面談やケース会議が制限される事態となりました。最初は「患者さんが退院するために必要なことだから」と、なるべく顔を合わせた会議を開けないか考えました。しかし、コロナの感染者数は増加…。そこで当院でも「オンライン



面談」が導入されることになりました。「オンライン面談」とは、Web会議システムのZoomを使用し、ご家族、病院スタッフ、関係機関をそれぞれ同時につないで、病状や退院に向けた話し合いをすることです。患者さんも病棟からスタッフと一緒に参加してもらいます。開始して8ヶ月、最初の頃は、Zoomという聞き慣れないシステムに尻込みし、手順通りにやっているのに「Zoomが立ち上がりません！」「こちらのカメラが映ってないみたいです！」など、慌てることもしばしば。ほかの参加者もお互いに不慣れで、文字通り汗だくで会議を行っていました。

しかし、みんなで話し合いながら試行錯誤した結果、少しずつ慣れてきて「前もって資料を作ってみたら、参加者で画面共有をしながら話し合うことができました」など工夫ができるようになってきました。また、ご家族や関係機関の方からも「移動時間がとられない

のでZoomのほうが良いです」と言われることもあり、コロナが終息しても「オンライン面談」は効率よく話し合いができるツールとして活用されそうな予感です。これからは患者さんやご家族にとってどちらのスタイルで行うほうが良いかニーズに合わせていきたいと思っています。

病棟PSWは毎日のように入退院があり忙しい日々ですが、“Zoom映え”を気にできるくらいの余裕を持って、みんなががんばりたいと思います。



南3病棟 読み聞かせ

●医療コーディネイト部 臨床心理科
臨床心理士 公認心理師 木戸 歩実



金曜日の午後5時。子どもたちは時計を確認しソワソワ。そこに颯爽と現れるのは、絵本を持った1人の心理士(私)。そう、お待ちかねの「読み聞かせ」が始まる時間です。たくさんの子どもたちが「今日の絵本はなんですかー!」と笑顔で駆け寄ってきます。さながら人気者の気分です。しかし、そんな喜びも束の間、興味のない絵本だと真顔に戻り、速やかにその場を離れていきます。子どもは大変正直です。心理士のさみしそうな表情を感じ取ったのか、「誰もいないとかわいそうなので来てあげますよ」と戻ってきてくれる子もいます。やはり子どもは優しいのです。できる限り、子どもにウケのよい絵本をチョイスすることが私に託された使命です。参加者は小学生が多いかと思いきや、意外と中学生のお兄さん、お姉さんも好んで参加をしてくれます。少ないときはマンツーマン、多い時には10人を超えるときもあります。

絵本を取り出すと、“始まるぞ”と興味津々に表紙を見つめる子どもたち。いつもは元気いっぱい走り回っているような子も、ジッと見入って集中します。物語が始まると、笑いが起こったり、「なんでそうなるの!」とツッコミがはいったり、「あーあ」とがっかりしたり。時にはじんわりと感動して涙を流したりと、物語にあわせていろいろな気持ちがあわせます。みんなで味わい、最後は自然と拍手で締めくくられます。なんとも和やかで穏やかな時間

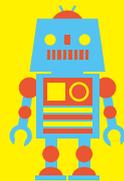
です。

心理士たるもの、子ども心をガッチリつかまなければ!と登場人物の声色をすべて変えて読んだ結果、どの人物をどの声で読んでいるのかわからなくなり混乱した時期もありました(読むときは盛りあげればあげるほどよいと思っていましたが、先日某TV番組で「子どもの想像力をひきだすために、読むときは登場人物ごとに声を変えたり大きな抑揚をつけないほうが望ましい」と言っているのを見てショックを受けたのはここだけの話です)。現在は、抑揚はほどほどに、でも心を込めて読んでいます。

5年前から始まった「読み聞かせ」ですが、今後も子どもたちの楽しみや、リラックスできる時間のために、細く長く続けていきたいと思っています。ちなみに、写真の絵本はみんなの反応が良かった個人的セレクションです。知っているものはありますか?ぜひ心理士を見かけたら、雑誌がてら教えてください。そして、あわよくばオススメをお聞かせください。よろしく願います。



Q&A



ハル ハジメマシテ。僕はロボットの「ハル」。今日から向陽台で働く見習いスタッフになるんだ。ベテランスタッフのひなたさん、いろいろ教えてください!

ひなたさん ようこそ、向陽台へ。なんでも答えますよ!

Q 向陽台病院ってどんな病棟があるの?

A 全部で4種類の病棟があるのよ。

南1・2病棟(救急):眠れない、気分の上がり下がり、いろいろな声や考えに行動が左右される…など、具合が悪くなった人が入院する病棟よ。ゆっくり休んでリズムを整えることが大切なのよ。

南3病棟(児童・思春期):ここは子どもたちの病棟。とっても賑やかで、まるで修学旅行のよう。毎日のプログラムを通して、人との関わり方の練習をしているわ。

北2・北3病棟(療養):ゆったりした時間が流れる病棟よ。アットホームな雰囲気、自分のペースで治療を進めることができるのよ。

Q スタッフは何で私服なの?

白衣を着てみたかったのにな〜。

A 2000年(平成12年)に白衣から私服に替わったのよ。あの頃は私も若かったわ(遠い目)。親しみやすさや季節感を味わって欲しい、との思いから始まったみたい。「だれがスタッフかわからない」なんて言葉を聞くこともあるけど、病院っぽくなくて私は気に入っているわ。毎日何を着るかはちょっと悩んじゃうけどね。

Q 持ち込んじゃいけない物があるって、本当?

A そうそう。安全に入院生活を送っていただくため、はさみやライターなどの危険物やアルコール、ガラス製品、テレビやパソコンなどの電子機器類は持ち込めないのよ。あら、ハル君も電子機器だから病棟には入れないわね…。でも大丈夫!!今から主治医の先生に許可もらえるか確認してくるわ!!(リワークや責任レベル2以上の患者さんは許可があれば使用できるのよ!)

新人スタッフのハルくん。これからどうなるのでしょうか。ハルくんの成長をお楽しみに!



私の流儀“かぶりつき”

診療部 教育研修担当部長
医師 山脇 かおり

流儀とは？辞書によると、①物事のやり方、②技術・芸能などでその人や流派に伝わっている手法・様式、とある。テーマをいただいてから、自分なりの「やり方」について考えた。気がついたのは、“かぶりつき”。聴講するとき、一番前に座るのだ。もちろん現在は弱視（錐体ジストロフィーという視神経疾患で視力は矯正0.05を下回る）の影響もあるのだが、もっとずっと前からである。いつからなのか…大学生の時にはすでにそうだった。高校時代にも、自分で席を選べる場合には前列を希望していたような気がする。小学生の頃は、授業が退屈で教科書の隅にパラパラ漫画を描いたり、人物画に落書きなどしていたので、たぶん違う。

なぜか。すぐに思いついたのが一つ。気が散らないようにするためのようだ。周囲の受講者や係員の動き、掲示物などに気を取られ、講師の声は遠のき、ともするとそのうちぼんやりと白昼夢に耽ってしまうのだ。余分な刺激が入らないように、自分なりに

工夫していたようだ。自身の特性に納得しつつ、それだけか？と自問しているうちに、もう一つ気がついた。大学時代に最前列で集中して受講していたのは、試験勉強をできるだけ短く効率的にするためだったようだ。当時は家庭の事情で家庭教師や模試採点・塾講師などアルバイトに明け暮れており、「再試を受ける時間はない」のだった。授業内で講師は重要・頻出事項に触れる際に強調することが多く、その部分のノートに教員が話したエピソードもメモして印や付箋をつけておくのだった。必死だったのだろう、同級生に「ヤマはり」と呼ばれるまでになり、卒業まで赤点を取ることはなかった。今となっては懐かしい思い出である。

現在はオンライン受講が多くなり、スライドが見やすく助かっている。しかしながら、リアル受講での講師の佇まいや間合い、“氣”のようなものを感じられなくなり、学びが減って少し物足りなくも思うこの頃である。

向陽台 PICK UP

売店にインタビュー

病院の「憩いの場」売店についてインタビューしてきました！

●インタビューアール・編集 デイケア主任 佐藤 佑治



出店した経緯を教えてください。

約60年前、祖父の代からのお付き合いになります。最初は注文販売で、お菓子や雑貨などを月2回、入院患者さんに商品をお渡ししていました。その他にもたばこの自動販売機の設置や、食堂へ塩を納品していました。2004年に売店を設置する計画の話をお聞きし、屋外のプレハブで売店を出店することになりました。現在、17年目になります。

楽しみは何ですか？

まずは、お買い物に来ていただいた方との交流を楽しんでいます。売店の前を通る人の人間観察や、スタッフさんの機嫌なども見て楽しませてもらっています。店内に置く商品を検討するために、自分の食べたい商品を試食することも密かな楽しみです。

人気の商品を教えてください。

なかなか選びきれないですが部門ごとに分けてご紹介しましょう。

🍪お菓子部門

- 1位 プチシリーズ
- 2位 かっぱえびせん
- 3位 黒棒名門

🍷ドリンク部門

- 1位 ZEROコーラ
- 2位 綾鷹
- 3位 特茶

🍱お弁当部門

- 1位 ハンバーグ弁当
- 2位 唐揚げ&タルタル白身フライ弁当
- 3位 かにクリーム&酢豚弁当

最後に、心掛けていることがあれば教えてください。

売店に来られる利用者さんにとって、おばあちゃんであり、お母さんであり、お父さんであり、お兄ちゃんであり、お姉ちゃんであり、仲間であり、人生の先輩でありたいと思っています。今後もよろしく願います。

黒棒がランキングに入っていたのは驚きでした。

皆さんのお気に入りは何ですか？？ 私は…唐揚げ弁当です！！



連携機関

このコーナーでは、向陽台病院の連携医療機関の先生や関連施設の方にご登場いただきます。

第12回



社会福祉法人キリスト教児童福祉会 児童心理治療施設

こどもL.E.C.センター

松本祐一郎 施設長

日頃から、向陽台病院の皆様には大変お世話になっております。また、医療従事者として新型コロナウイルスの対応に尽力していただき深く感謝申し上げます。

「こどもL.E.C.センター」は熊本県で唯一の児童心理治療施設です。児童心理治療施設とはさまざまな理由で生きづらさを抱えている子どもたちとご家族に対して生活支援を基盤とするサービスを展開したうえで、心理士によるカウンセリングや医師による面接、施設内に併設されている学校(分教室)での個別の学習指導を通じて回復を図ることを目的とした施設です。L.E.C.とはL「生活:Life」、E「教育:Education」、C「治療:Cure」であり、子どもたちが主体性を持ってさまざまな活動を通して、心身の健康の回復と成長の促進を目指しています。

新型コロナウイルスの影響もあり、児童虐待の通告数が20万件を突破するという痛ましいニュースが報道されました。当センターを利用する子どもたちの中には虐待を受けた子どもたちも多くいます。虐待を受けた子どもたちは安心・安全が守られる生活の中で、さまざまなフラッシュバックを起こしたり、職員のことを本当に信頼できるか確認行動を行います。子どもたちも自分でコントロールすることが難しく、結果として子どもたち自身の自尊感情が下がってしまうこともあります。そのため医療機関と連携し、入院治療や投薬治療などを受けることで子どもたちの心の基礎をしっかりと創り上げることができ、さまざまな社会的なスキルを獲得することができます。

向陽台病院を退院して当センターでの治療を受け、地域でよりよく生活を営むことができる子どもたちが大勢います。今後とも、向陽台病院を中心とした関係機関の方々と一緒に連携を図りながら子どもたちの心のケアに邁進していきたいと思っております。



院内学級 ひかり

いじわる虫の生態

今回は院内学級を離れて、子どもたちが生活する児童思春期病棟(南3病棟)の様子を覗いてみましょう。

2010年代、時は平成。南3病棟には妖怪があふれていました。妖怪は感受性が強く純粋な子どもに取り付いては悪さをしたものです。そう、ご存知、妖怪ウォッチです。

時を経て2021年、令和の南3病棟には“虫”が飛び交っています。デイルームで将棋やカードゲームをしながら、互いをおおってバカにする声が聞こえます。『あおり虫』の仕業です。あ、今度は誰かが大きな声で怒っています。『イライラ虫』がとりついたようです。イライラ虫はどんどん怒りを増幅させるので早く一人になって休憩をする必要があります。ん？何々？『無視虫』が取り付いている人がいるって？それは大変！無視虫は“いじめ”を生んでしまう危険な虫です。

「○○くんがおおってきます」「△△さんが何度言ってもついてきます」。新型コロナ

ウィルスの関係で、外出を制限された病棟内は虫にとって居心地がよろしくて…。子どもも大人も大迷惑。そこで子どもたちを集めて、『いじわる虫の生態』を調べようと提案をしてみました。元は感受性が強く純粋な子どもたち。提案にノリノリで応じてくれました。いじわる虫の種類、特性を調べ上げると絵の得意な子が虫をイラスト化してくれました。せっかくなら動画にしようかと声優さながら発声練習をして。あっという間に5分間のショートムービーのできあがり。虫の生態を調べている間に、感染対策の行動制限も緩和され、南3病棟には平和が訪れつつあります。これからもユーモアと自由な発想で病棟の平和が守られていくことを願っています。

今回作成したムービーは当院のHPで見ることができますので、どうぞ視聴ください。

(辻翔太)

地域連携室からのお知らせ

初診予約専用ダイヤルを新しく設置

初めての方、1年以上受診されていない方の受診のご相談は、こちらの番号におかけください。

● 初診予約専用ダイヤル
096-272-0908

● 予約受付時間:
月～金曜日 9:00～16:30

初診予約の受付、待機状況については、ホームページの「お知らせ」で最新情報をご確認ください。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

動向を探る

向陽台病院を利用されている患者さんの2021年9月から11月の動向を掲載しています。

集計月	2021年 9月	2021年 10月	2021年 11月
外来延数	2,475	2,512	2,537
新患者	53	39	38
1か月ごとの入院患者数			
入院	48	43	44
退院	44	38	44

編集後記

「こもれび」の編集にたずさわるようになりもうすぐ5年。

漢字の書き取りも、ピアノの練習も…コツコツ続けることは昔から苦手です(書類づくりは今でもギリギリになってしまいます)。 「おもしろい！」と思うことに衝動的に飛びついてここまでやってきました。

今年も「わくわく」を原動力に、かけぬけていきたいと思っております。

(杉本 千佳子)

「こもれび」に関するご意見・感想をお待ちしています！

私たちは「こもれび」をとおして、皆さまに役立つ情報をお届けできればと作成しています。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。

(広報委員会)

診察のごあんない (2022年1月現在)

月	火	水	木	金
山脇	比江島	猪山	兼氏	田仲
新堀	田仲	矢田	牧 [隔週] 宮崎 [隔週]	河崎
—	森並	横田(晃) [隔週]	長田	村川

※担当医は予告なく変更になる場合がございます

祝日は外来をお休みします

- 診療科目: 精神科・心療内科・児童精神科
- 病床数: 198床
- 外来診療時間: 月～金曜日 9時40分～16時
- 外来休診日: 祝・土・日曜日

初めて受診される方へ

当院は予約制です。初めての方は、地域連携室へお電話ください。☎ 096-272-0908 (初診予約専用ダイヤル)

※地域連携室直通 (096-272-5250) は業務用となります。

電話の際、①お名前 ②相談内容 ③連絡先などをおうかがいし、予定の日時を決めます。

当日の所要時間は問診や診察、検査などを含め、2時間程度とお考えください。

病院理念

私たち向陽台病院は、地域医療のなかで安全で効果的な精神科医療を提供するために、職員の知恵を結集し、迅速かつ包容力のある対応ができる病院を目指します。

患者さんの権利

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。
また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。

交通アクセス

🚌【産交バス】向坂バス停から徒歩3分 投刀塚バス停から徒歩3分

🚗【車】植木ICから15分 北熊本スマートICから10分

🚆【JR】植木駅下車 → タクシーで6分



医療法人横田会 向陽台病院

熊本県熊本市北区植木町鐙田1025 tel.096-272-7211



当院は「情報公開レベル優良施設」として、はとはあと評価(認定3/Stage-1)の第三者評価認定を受けています。



当院は、2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2020年1月に3rdG.ver2.0で再認定されました。

●日本精神神経学会専門医研修指定病院

●日本精神科病院協会認定専門医研修病院



上のQRコードをQRコード対応携帯で読み込むと向陽台病院サイトにアクセスできます。